※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1003 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地歴 | 科目 | 地理総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高校生の地理総合」（帝国書院）「標準高等地図」（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○一学期…地図の見方や領土問題、様々な地域の気候や生活様式について学習します。
○二学期…一学期に学習したことを踏まえて、日本との比較をおこないながら、様々な国の生活・文化、それらの地理的な要因との関係や世界がいま抱えている課題についてについて学習します。
○三学期…日本の自然環境や地震・津波などによる災害と防災について学習します。

## 2　学習の到達目標

・地理的事象と地球的課題を理解し、その基本的な知識を身につけ、地図や諸資料から情報を読み取る技能を身につける。
・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決への思考・判断を培い表現できる。
・広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 地理的事象についての基本的な事柄と地球的課題への取り組みを理解し、その知識を身につけ、地図や諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 | 国際社会における地理的諸課題を見出し、歴史的背景などと関連づけながらその特性を多面的・多角的に考察したり、構想したことを自分の言葉で表現している。 | 地理的事象や地球的課題に対する関心を高め、主体性を持って他者と協働しながら課題解決に向かい、持続可能な社会の形成者として自覚を持っている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 地図や地理情報システムと現代世界 | ・地球上の位置と地上の現象<br>・経度の違いと時差<br>・球体と平面の世界<br>・地図の種類<br>・地理情報システムの利用 | a:地球儀や様々な図法の地図から世界の姿を読み取るために必要な知識や技能を身につけている。地図や地理情報システムの役割を理解し、利用する技能を身につけている。<br>b:様々な地図の特徴や地図や地理情報システムの利用手段について，多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:目的に応じた地図や地理情報システムの活用の方法について，主体的に追究し，課題を見いだそうとしている。 | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 結びつきを深める現代世界 | ・国家の領域と国境<br>・地図から見る日本の位置と領域<br>・グローバル化と多様な結びつき<br>・拡大する貿易<br>・世界を結ぶ交通・通信<br>・観光と人の移動のグローバル化 | a:国家の領域の定め方や地図を通して世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴を理解している。<br>b:国家の領域の定め方やどのような領土問題があるのか，世界の国々はどのように結びつき，交通，通信，人の移動の特徴があるのかについて，地図を通して多面的・多角的に考察し，表現する。<br>c:国家の領域の定め方や領土問題，世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴について，地図を通して主体的に追究し，課題を見いだそうとしている。 | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 世界の地形と人々の生活 | ・人々の生活と地形の関わり<br>・河川がつくる地形と人々の生活<br>・海岸の地形と人々の生活 | a:世界の多様な生活文化が自然環境や社会環境を背景に，互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。<br>b：地形や気候，産業発展，歴史，人の移動，他地域との結びつきに着目しながら，世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:世界の多様な生活文化を尊重し，共生を図っていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだそうとしている。 | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 世界の気候と人々の生活 | ・熱帯の気候と人々の生活<br>・乾燥帯の気候と人々の生活<br>・温帯の気候と人々の生活<br>・亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活<br>・世界から見た日本の生活文化 | | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ２学期 | 経済発展による生活文化の変化 | ・東アジア<br>多民族国家、多様な食文化、巨大な人口<br>・東南アジア<br>季節風と生活文化、海上交易の歴史、経済発展と変わる生活<br>・南アジア（インド）<br>ヒンドゥー教徒と生活、急速な経済成長と宗教 | a：世界の多様な生活文化が自然環境や社会環境を背景に，互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。<br>b：地形や気候，産業発展，歴史，人の移動，他地域との結びつきに着目しながら，世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c：世界の多様な生活文化を尊重し，共生を図っていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだそうとしている。 | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 伝統の継承と生活文化の関わり | ・ヨーロッパのキリスト教文化<br>・食文化と地域による違い<br>・環境への配慮<br>・地域統合と生活に変化 | | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 産業技術の発展と生活文化の関わり | ・移民が支える産業や社会<br>・大規模な農業がもたらす食への影響<br>・世界に広まる最先端の技術 | | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |
| ３学期 | 地球的課題と国際協力 | ・人口問題（少子高齢化）<br>・食糧問題（飢餓と飽食）<br>・居住問題（都市部への人口集中）<br>・感染症・衛生問題<br>・資源・エネルギー問題 | a：地球的課題が生じている場所や要因，それらの課題が相互に関係し合っていることを理解する。<br>b：地球的課題がどこで，どのように生じているのか，解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c：持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について，主体的に追究し，課題を見いだそうとしている。 | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 自然環境災害・気象災害と防災 | ・日本の自然環境と人々の生活<br>・地震や津波災害と地域の取り組み<br>・火山災害と地域の取り組み<br>・気象災害への対策と備え | a:自然災害が生じる場所と要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。<br>b:どのような自然災害がどのような場所で生じるのか，日本の自然災害にはどのような特徴があるのか，どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて，主体的に追究し，課題を見いだそうとしている。 | 定期考査<br>小テスト<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度